

## ～ 松が丘ご自慢逸品推進事業 ～

参加店が独自のサービスや商品を提供しPRする「一店逸品事業」、「松が丘ご自慢逸品朝市事業」を実施し、地域との連携強化や商店街の効果的な情報発信を図り、来街者数の増加につなげている。

所在地：千葉県船橋市松が丘4-30-19  
 TEL・FAX：047-463-6922  
 URL：<http://matugaoka.exblog.jp/>  
 組合員数：42名  
 商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

新京成線高根木戸駅、北習志野駅間に位置する市道バス通沿い900mに亘る最寄品、買回り品が混在する商店街。街区には小学校や銀行、スーパー等があり地域の生活の拠点となっており、最寄駅まではバスが利用されている。

増加する新興住宅地の住民と古くからの住民間の交流や、商店街の利便性の向上が求められていることから、地域の人々に参加してもらって商品開発を行った一店逸品事業や、商店街に加え関連団体、地域住民もブース出展する朝市の開催により、商店街認知度の向上や地域交流を目指した。

## 実施した事業の概要

### ①一店逸品事業（平成26年10月22日、11月14日、12月11日、平成27年1月14日、1月27日実施）

商店会各参加店が独自のサービスや商品を提供しPRすることで、商店会及び各個店の魅力を創出し、地域住民にアピールした。

また、外部専門家による指導を受け、訴求力のある「チラシ」を制作するとともに、「逸品めぐりツアー」を開催した。

事業には、連携した地区の社会福祉協議会を通じ大勢の地域住民に参加してもらった。参加者から商品の評価や意見を聞くなど消費者の「逸品」に対する率直な意見を聞くことで、今後のブラッシュアップのための材料とした。

### ②「松が丘ご自慢逸品朝市事業」（平成26年11月23日実施）

地域住民とのコミュニケーション強化を狙って地区の社会福祉協議会と連携して朝市を開催し、商店街区内の特設会場に商店会参加店舗、連携した商店会、地域住民によるブースを設置。合わせて、子供たちが楽しめる駄菓子とお楽しみくじのブースも設置した。

各ブースによる各々のお勧め品の販売の他、地域住民との連携を通じて触れ合いが持てる機会を設けた。また、船橋市が進めているパフォーマンスグループによる公演を開催し、会場全体を賑やかな空間となるよう演出した。



## 成果と成功の要因



本事業を行ったことにより、地域住民の商店会に対する認識を一層深め、来街者の増加につなげることができた。また、商店街での購買機会の増加や魅力の向上により出店希望者が増加し、空き店舗の減少にもつなげることができた。さらに、地域との連携や各参加店による取扱品の紹介を行ったことで商店会活動の情報発信に効果があったと考えている。

事業成功の要因としては、商店会の若手や女性メンバーが主体となって率先して取り組んでくれたことや、社会福祉協議会、地元町会、船橋市役所との効果的な連携が挙げられる。

## 今後の取り組み

事業終了後に、商店会役員、町会関係者によるミーティングを開催し、事業評価として商店側、消費者側双方の視点で、課題、反省点などを取り纏めており、今後は、それを活かして事業を継続していく予定である。

資金面については、事業費用の効率化に努めるとともに、組合員からの特別会費の徴収を行い、商店会事業費として予算を計上することとしている。